

科目名	ロシア語2							教職	
科目区分	外国語	履修区分	選択	配当年次	2	単位数	2	開講区分	後期
教員名	木寺 律子（非常勤）								
授業の概要	<p>キーワード： ロシア、文法、会話</p> <p>前期に引き続き。ロシア語の初級文法を学んでいく。学んだロシア語表現を使って、実践的な会話の練習も行う。ロシア文学やロシア史についての話題も取り入れ、ロシア文化に接しながらロシア語を学ぶ。</p>								
到達目標	<p>身の回りの事情を表すロシア語の単語を多く覚えて、ロシア語初級文法を習得する。また、ロシア人と実際に出会ったときの自己紹介や、生活や買い物に必要な最低限のことが言えるように、即戦力のあるロシア語を身につけることを目指す。ロシア文化のなんらかの側面に対して、学生が主体的な関心を持てるようにする。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の概要説明、前期の復習 2. 動詞の過去形 3. 唇音変化の動詞（一人称単数の時に語尾にЛ）、所有の表現などの過去形 4. 動詞の未来形、所有の表現の未来形、「何々が痛い」の表現 5. 名詞の生格の作り方と用法、否定生格 6. 交通手段の表現（на + 前置格）、週や月を表す単語と表現 7. 与格の作り方と用法、代名詞の与格 8. 造格の作り方と用法、小テスト 9. 形容詞の格変化 10. 動詞の完了体と不完了体の区別 11. 「何々に似ている」の表現 12. 数詞、さまざまな前置詞と結合する格 13. 動詞の未来形 14. 禁止の表現、義務や可能の表現、仮定法 15. 「気に入る」の表現、動詞につける接頭辞 16. 定期試験 								
評価方法	平常点（20%）、小テスト（20%）、定期試験（60%）によって判断します。								
講義外での学習	授業にしっかりついていけるように、予習・復習をしましょう								
履修上の注意事項	<p>人数制限あり。</p> <p>ロシア語は初級レベルの文法が難しいですが、一度初級文法をマスターすると、中級以降で楽になります。ですから、ここでしっかり初級文法を習得しましょう。</p> <p>※先修科目： 履修にあたって、「ロシア語1」を履修すること。</p>								
教材	<p>◆教科書： 黒田龍之介著『ニューエクスプレスロシア語』白水社 (ISBN 978-4-560-00627-6)</p> <p>◆参考書： 井桁貞義『コンサイス露和辞典』三省堂</p>								